

株式会社 トリケミカル研究所
第49期(2027年1月期)
第2四半期決算説明資料

東京証券取引所
証券コード：4369

1. 2027年1月期第2四半期決算実績

単位：百万円

	27.1期 上期実績	27.1期 上期計画	(ご参考) 26.1期 上期実績	(ご参考)前年同期比	
				増減額	増減率
売上高	14,705	13,700	12,375	2,330	18.8%
営業利益	3,838	2,960	3,177	660	20.8%
経常利益	4,526	3,090	3,800	725	19.1%
当期純利益	3,373	2,190	2,776	596	21.5%

上期として過去最高売上・利益を達成
台湾・中国先端半導体向けを中心とした業績の大幅成長
経常利益に持分法投資利益648百万円
半導体各社の旺盛な需要を鑑み通期計画を上方修正

単位：百万円

	26/7月末	(ご参考) 26.1期末	増減額
流動資産	24,444	23,253	1,191
固定資産	24,676	24,021	654
資産合計	49,121	47,274	1,846
流動負債	5,589	7,604	-2,014
固定負債	5,281	3,520	1,760
負債合計	10,871	11,125	-253
株主資本	37,361	35,125	2,236
その他包括利益累計額	887	1,023	-136
純資産合計	38,249	36,149	2,100
負債純資産合計	49,121	47,274	1,846

主な増減要因

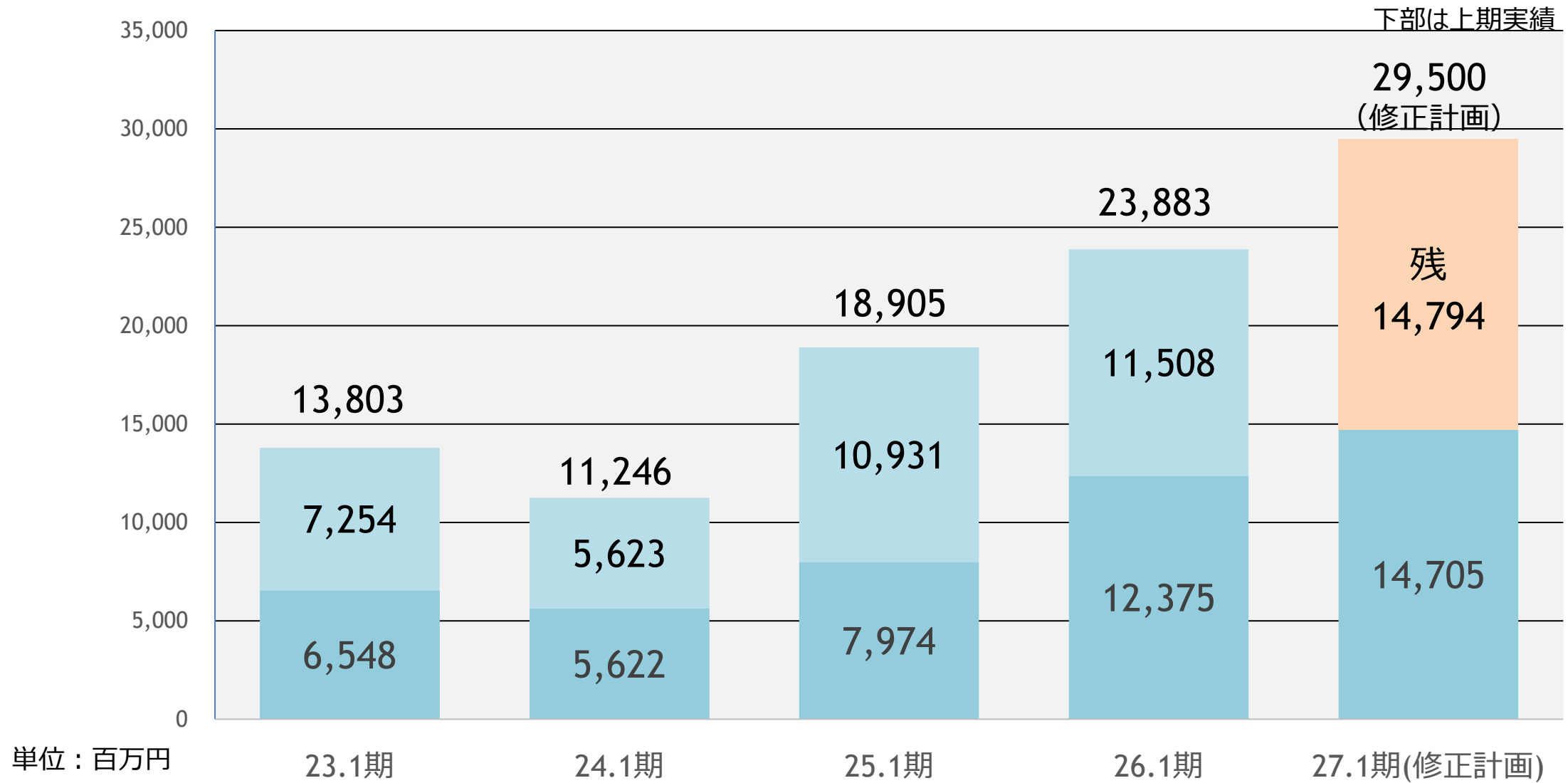
流動資産	現金及び預金の増加	+2,798
	流動資産その他の減少 (未収消費税等の減少等)	-1,054
	売上債権の減少	-348
固定資産	持分法投資利益の計上等に伴う 投資有価証券の増加	+472
流動負債	流動負債その他の減少 (未払金の減少等)	-2,184
	買掛金の減少	-646
	未払法人税等の増加	+500
固定負債	長期借入金の増加	+1,785
純資産	純利益計上による利益剰余金の増加	+2,236

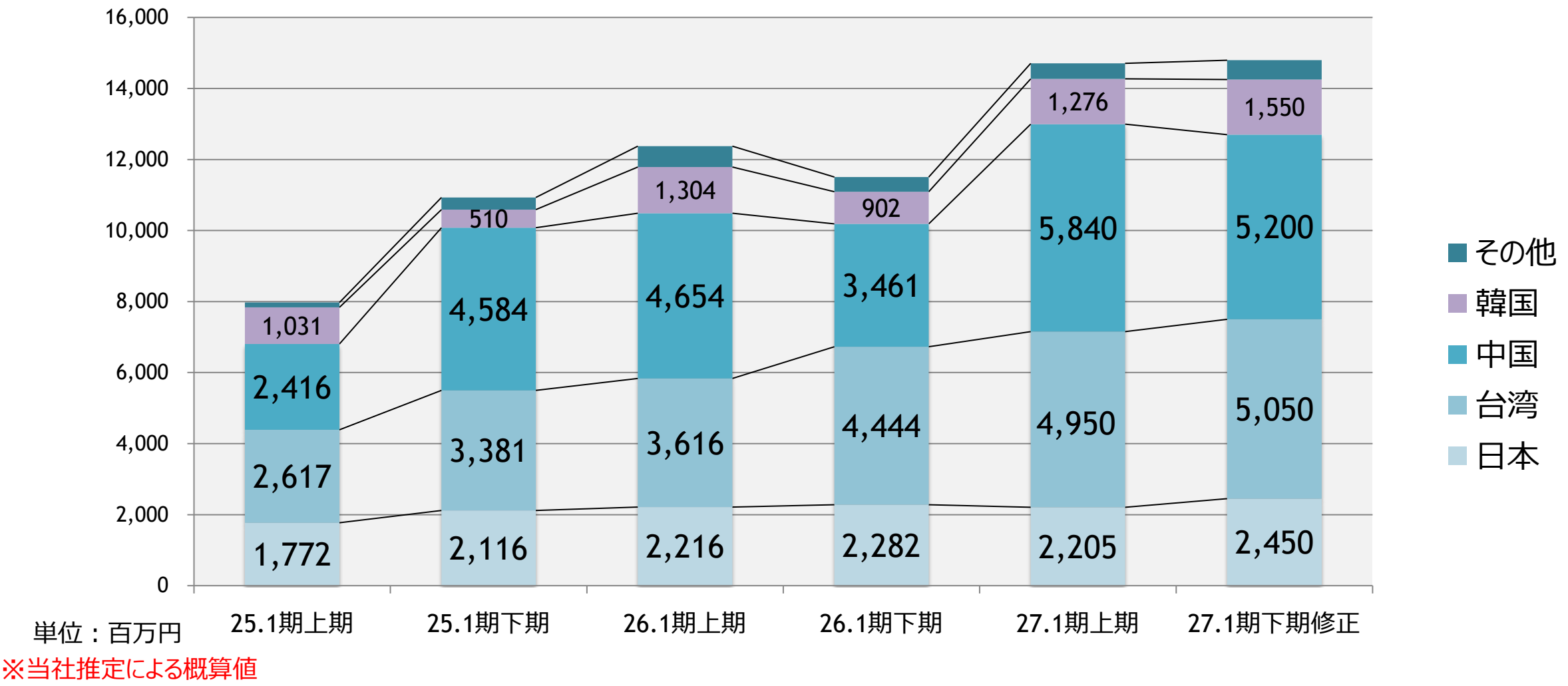
単位：百万円

	27.1期上期	(ご参考) 26.1期上期
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,877	2,728
投資活動によるキャッシュ・フロー	-2,977	-3,549
財務活動によるキャッシュ・フロー	858	-1,526
現金及び現金同等物の増減額	2,798	-2,342
現金及び現金同等物の期末残高	10,078	7,096

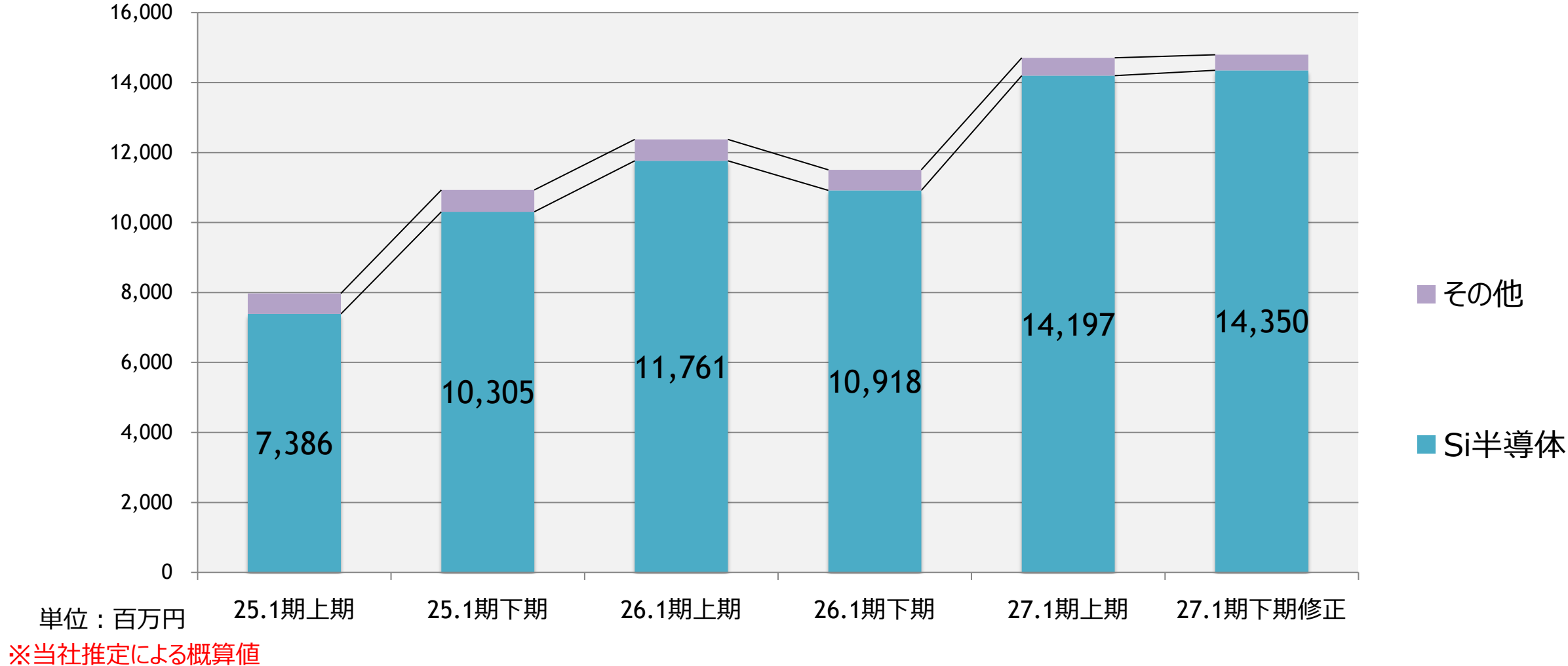
CFの状況

営業CF	税前当期利益計上	+4,526
	減価償却費計上	+1,213
	法人税等の支払額	-771
	仕入債務の減少額	-650
投資CF	有形固定資産の取得	-2,972
財務CF	借入金調達・返済	+2,059
	配当金の支払額	-1,135

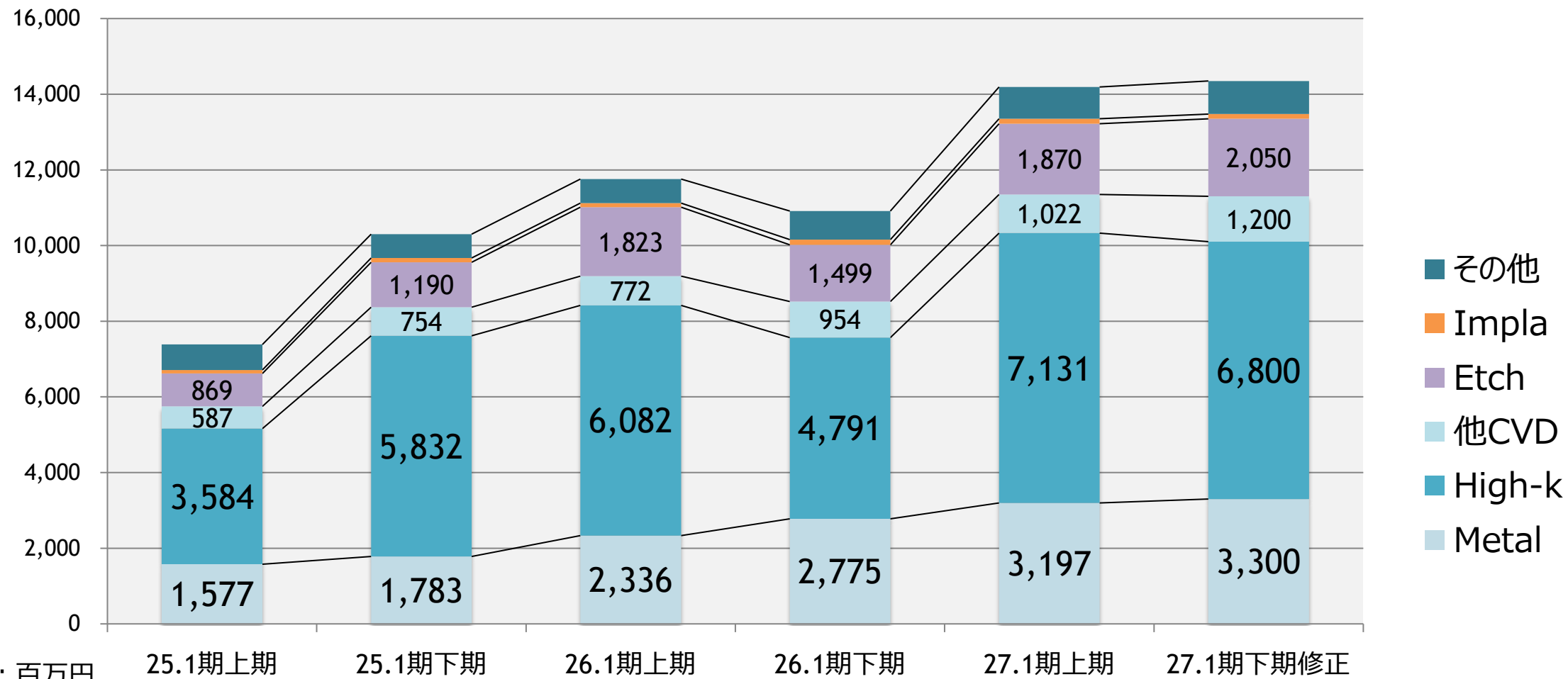




中国向け売上は減少も期初計画より強く推移

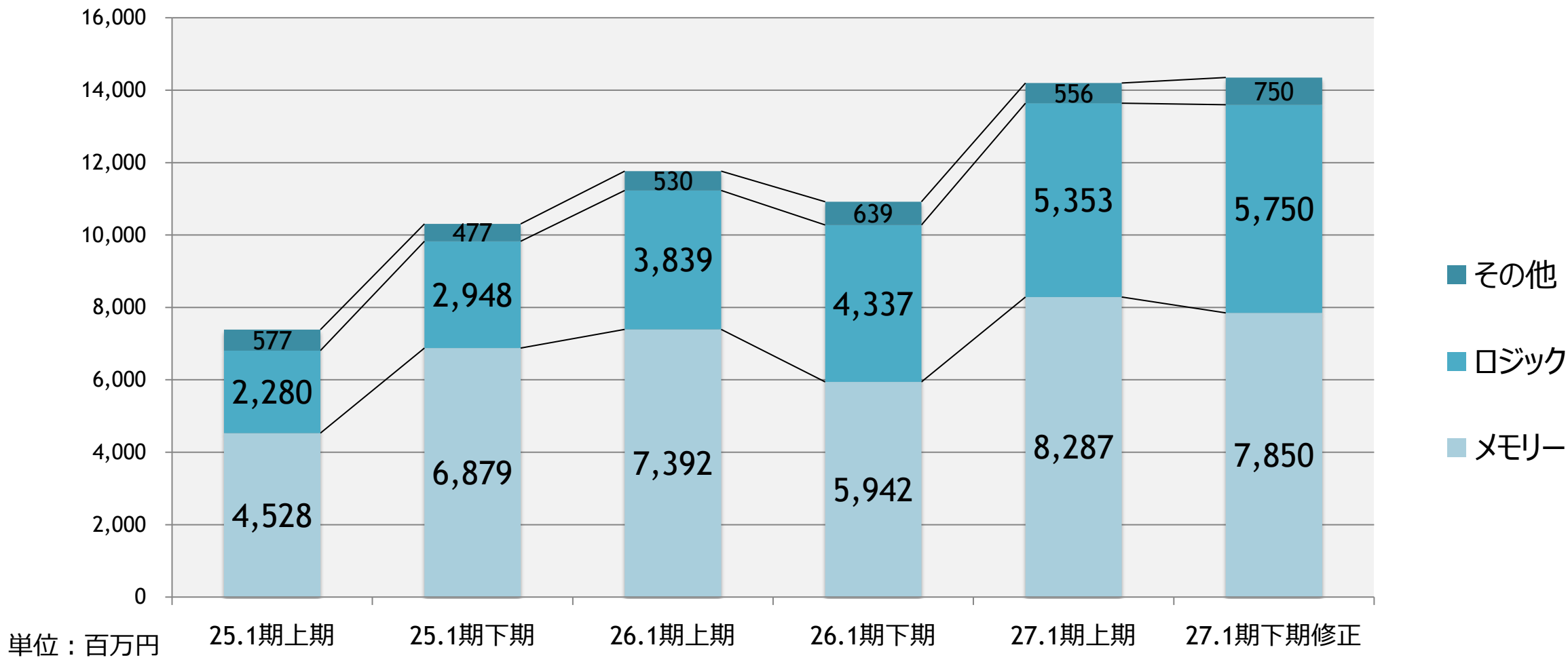


先端半導体の稼働は下期も好調を維持



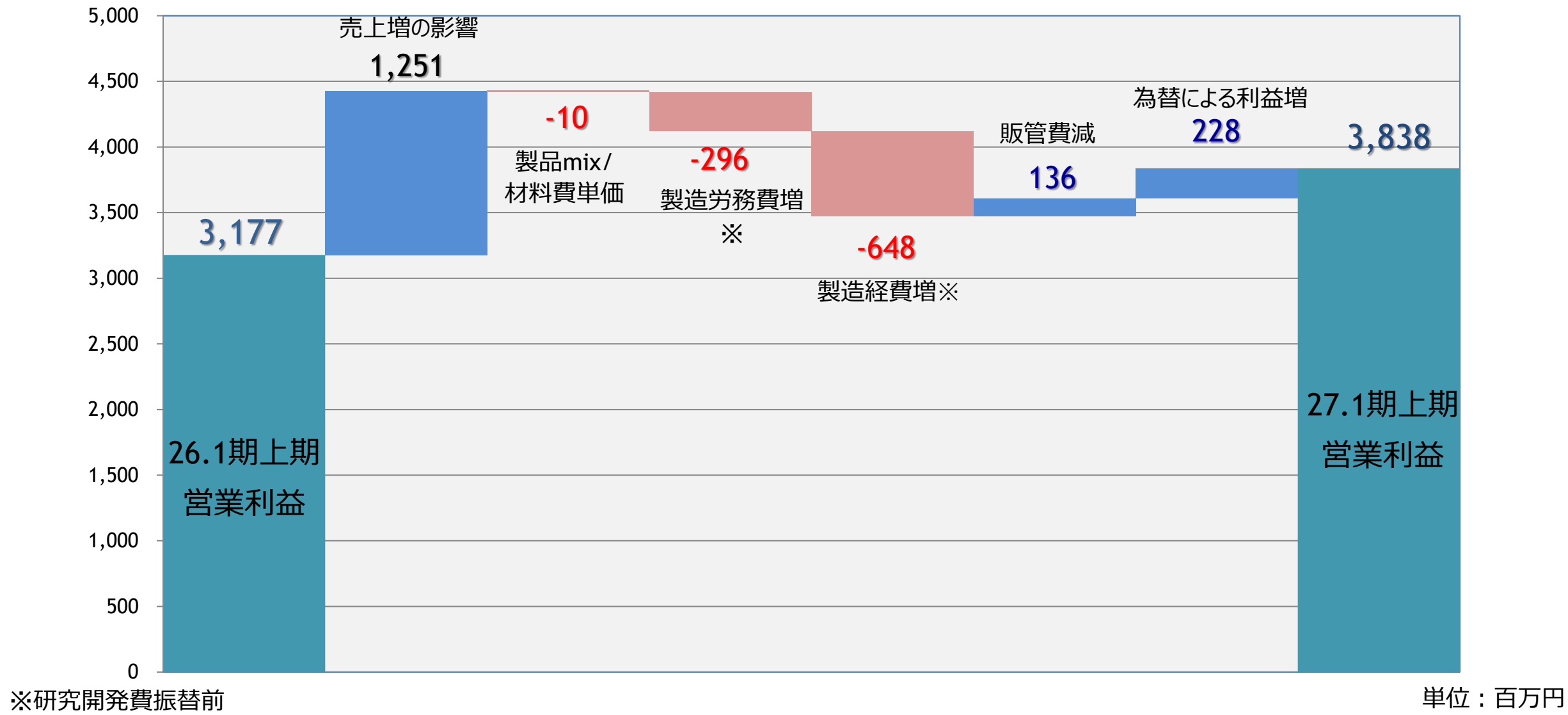
※当社推定による概算値

Metal・エッチング等を中心に好調を維持



※当社推定による概算値

ロジック向けは好調を維持



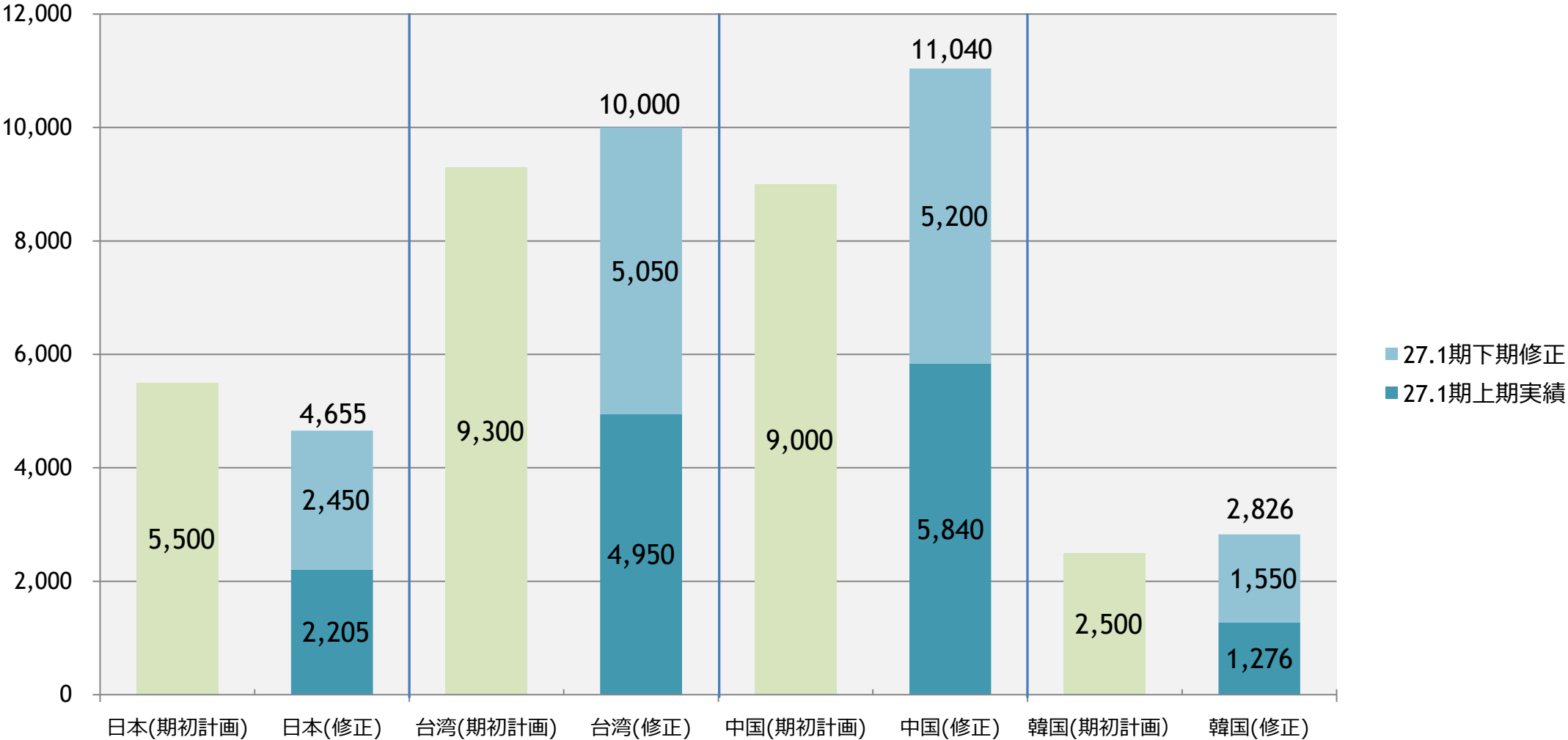
2. 2027年1月期業績見通し及び戦略

単位：百万円

	27.1期上期	27.1期通期 (8/31修正計画)	進捗率 (対修正計画)	(ご参考) 修正前 27.1期通期計画	(ご参考) 26.1期通期
売上高	14,705	29,500	49.9%	27,000	23,883
営業利益	3,838	7,450	51.5%	6,000	5,902
経常利益	4,526	8,720	51.9%	6,300	7,090
当期純利益	3,373	6,570	51.3%	4,600	5,515

下期想定レートは155円/1米ドル設定に変更

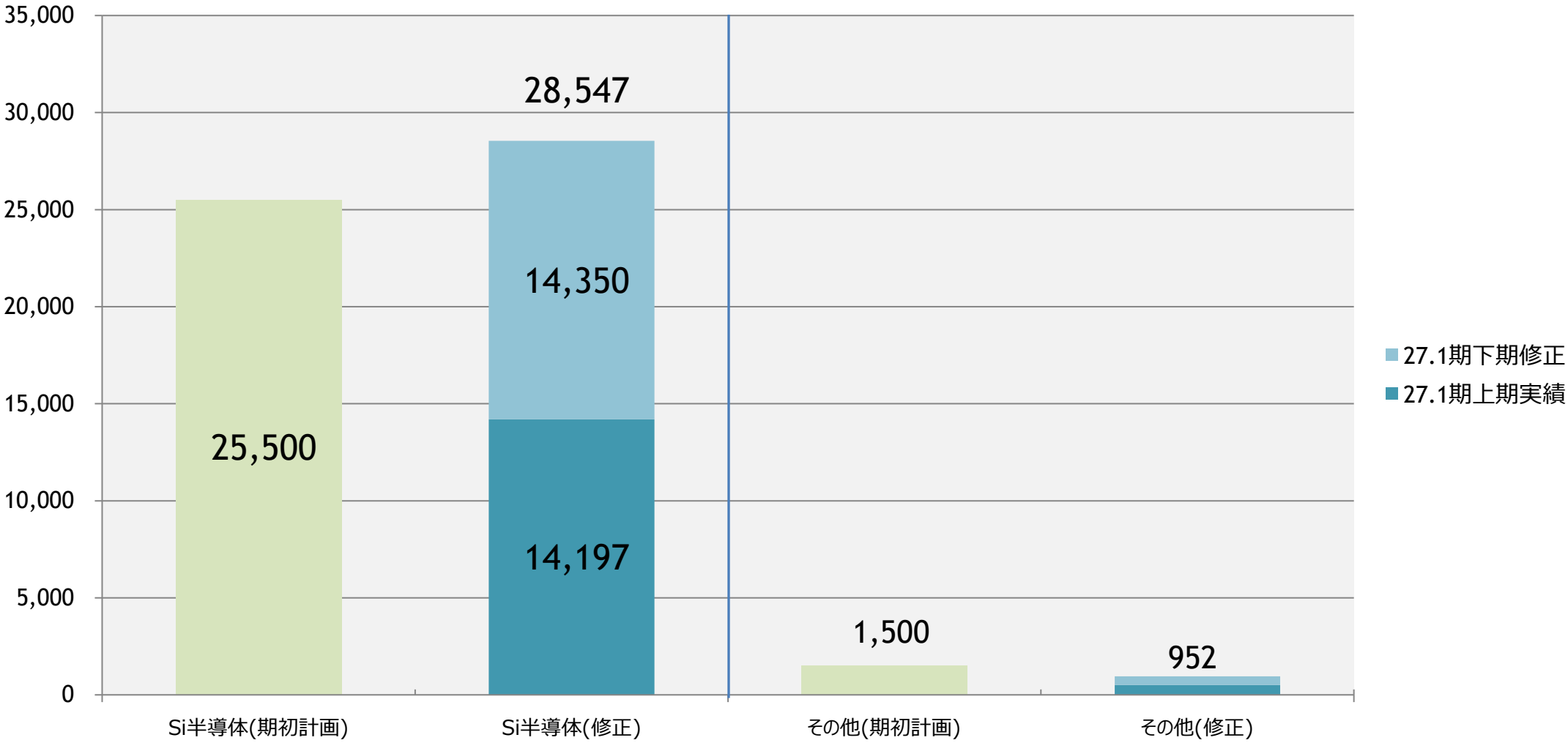
旺盛な半導体需要を背景に通期業績を上方修正
下期持分法投資利益 上期並みの水準を想定(6.4億)



※当社推定による概算値

単位：百万円

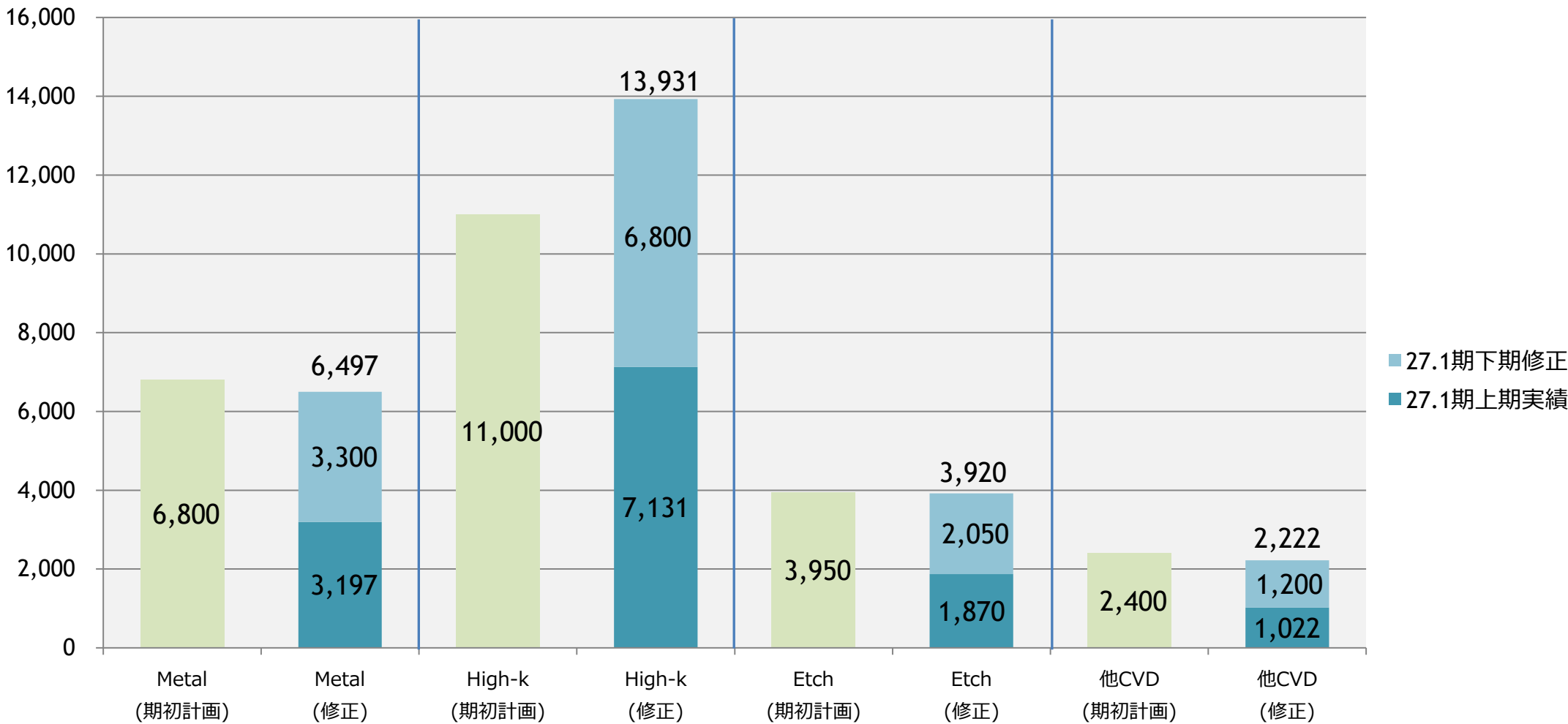
国内向け以外は堅調に推移する見通し



※当社推定による概算値

単位：百万円

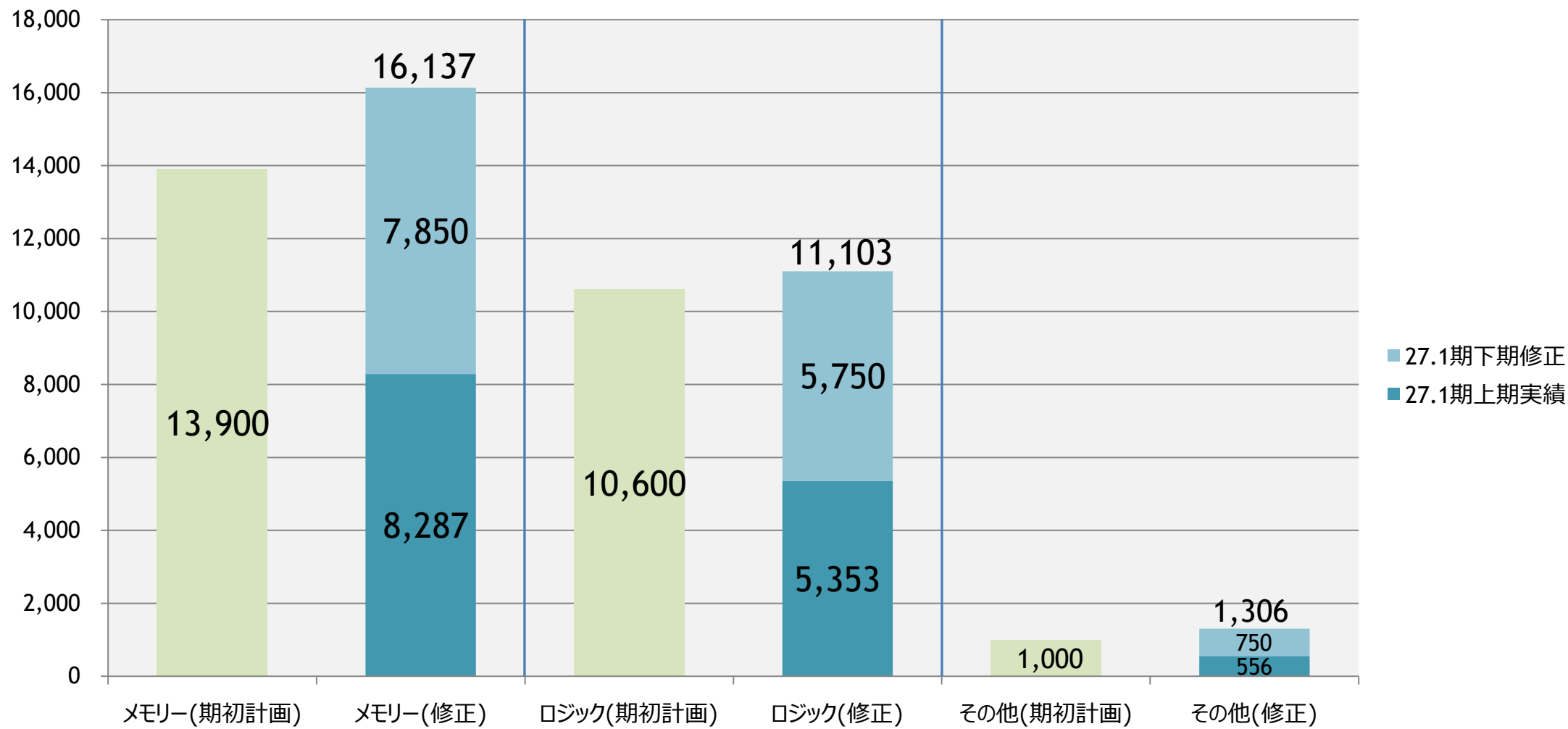
その他の未達要因は国内向け販売の不振



※当社推定による概算値

単位：百万円

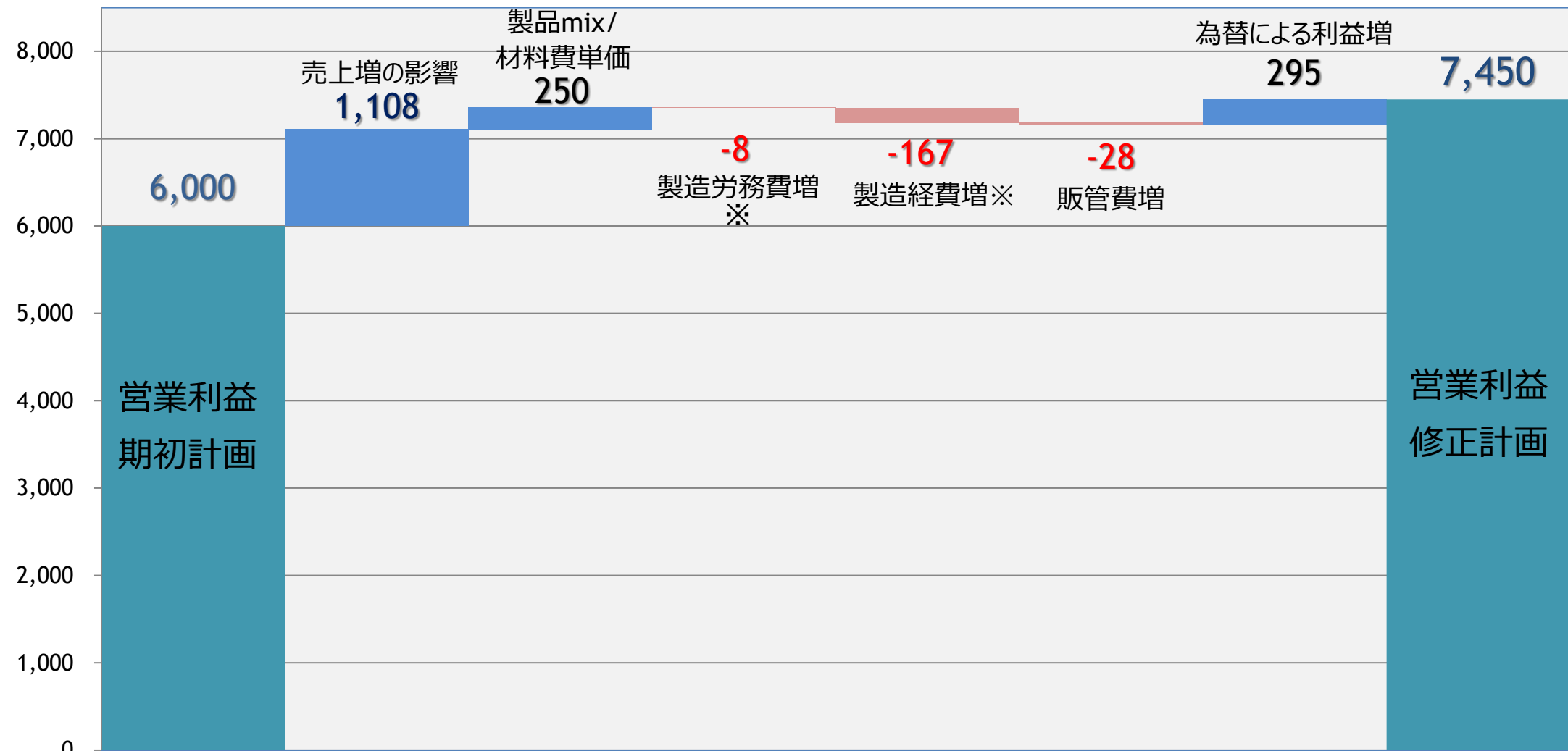
期初計画比ではHigh-k材料が好調



※当社推定による概算値

単位：百万円

メモリー・ロジック向けともに期初計画を上回る見通し



※研究開発費振替前

単位：百万円

外部環境見通しなど

1. AIを中心とした先端半導体の需要は引き続き好調
2. 中国向け売上は下期減少も期初想定より強く推移
3. 国内向けは一部原料(光ファイバー向け)が中国規制により調達できず
4. 為替見通しは\$1 = ¥155 に修正(期初計画\$1 = ¥150)

下期の施策

1. 計画見直しに伴う直近での生産体制最適化検討
2. 今後の顧客動向を見据えた中長期的な生産能力向上の準備
3. 南アルプス事業所における次世代半導体材料の生産体制構築
4. 安全・品質管理体制の強化継続

3. 中期経営計画施策の進捗



起工式



工場建設予定地

中国半導体メーカーの現地調達ニーズに対応しビジネスの拡大を目指す
現在工場を建設中、完成は2027年前半を予定



■ Topics

- ・成長戦略
 - 営業×開発 役員対談
 - 企業価値を高める専門人材の強化
 - 多様性活躍推進委員会の発足
 - 健康経営・DE&Iの推進
 - 若手座談会：開発チーム
 - サステナビリティ経営
 - 気候変動対応
 - SBT認定取得

https://www.trichemical.com/ir/pdf/report_2026.pdf

この資料に掲載しております当社の計画及び業績の見通し、戦略などは発表日時点において把握できる情報から得られた当社の経営判断に基づいております。
あくまでも将来の予測であり、様々なリスクや不確定要素により、実際の業績とは大きく異なる可能性がございますことをあらかじめご承知おきくださいますようお願い申し上げます。

お問合せ先 : homepageinfo2@trichemical.com